



### 一般財団法人 日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、英霊顕彰や遺族支援など様々な活動のために賛助金を募っております。本会は、これまで英霊の顕彰並びに戦没者遺族の福祉増進をはかるため、日々活動を行ってきたところでございますが、東日本大震災により収益部門であった九段会館が閉館したことに伴い、現在、慰霊友好親善事業をはじめ遺骨収集帰還等各種事業の継続が大変厳しい状況にあります。本会といたしましては、各種事業を行うにあたり、今後とも努力していくことは勿論のことですが、戦没者ご遺族並びに本紙ご購読者、本会の諸事業にご賛同される皆様方より一層のご支援、ご協力を仰がなければなりません。

本会の活動のご理解を賜り、何卒ご賛同いただきますようお願い申し上げます。大変恐縮ですが、ご賛同いただいた方の氏名を本紙に掲載し、お礼に代えさせていただきます。

**賛助金のお振込みは**  
 ●郵便振替 00130-2-694929  
 ●みずほ銀行 九段支店 普通預金 0980930  
 □座名はいずれも「一般財団法人日本遺族会：ザイニホンイソクカイ」  
 ※ご不明な点は本会事務局(電話03-3261-5521)までお問い合わせ願います

日本遺族会では、令和元年度戦没者遺骨収集帰還事業への参加希望者の事前登録を行っている。戦没者の遺骨をはじめ青年部(孫、曾孫等)の方にも広く登録願いたい。申込登録要項は次のとおり。

▼派遣実施予定地域及び期間 遺骨収集実施予定表参照。  
 ※相手国行政機関等との調整、現地の治安状況等の理由により事業が変更、中止となる場合がある。  
 ※フィリピン、インドネ

シヤ、ギルバート諸島については、厚生労働省が相手国政府等と協議中のため、現時点では実施は未定である。

▼参加資格 ①原則年齢制限はなく、身体健康な者で現地で取寄せ作業等に従事できる者。②各都道府県遺族会の会員である戦没者の遺族、孫、ひ孫、甥、姪で、身体健康な者。③本会の協力団体関係者並びに、本会事業の推進に賛同いただける者。  
 ※派遣者は健康診断書並

### 靖国神社 春季例大祭を斎行

## 天皇陛下よりの御幣帛奉納

靖国神社では四月二十一日から二十三日までの三日間にわたり、春季例大祭が斎行され、天皇陛下より勅使が差し遣わされ御幣帛が奉納された。内閣総理大臣、衆・参両院議長等は、大真榊を奉納し、二十三日には超党派国会議員でつくる「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長、尾辻秀久参議院議員)が揃って昇殿参拝した。

靖国神社春季例大祭は四月二十一日午前二時、「清版」で始まり、翌二十日には「当日祭」が斎行され、全国から戦没者遺族をはじめ崇敬者、各界の代表者など約六百人が参列して厳粛に執り行われた。二十一日午前十時、口建史官司以下の神職が本殿に進み、國學院大學吹奏楽部が山の幸を演奏する中、神饌を献上し、口官司が祝詞を奏上した。十時三十分には、天皇陛下より遣わされた勅使、筑波和俊堂典が参向し神前に御幣帛を奉奠、御祭文を奏上し、玉串を奉り拝した。

勅使退下後は、國學院大學フォイエールホール混声合唱団が鎮魂唄「靖国神社の歌」を奉唱。山口官司の歌、水落敬栄本会会長(参議院議員)のほか、英霊にこたえる会、神社本庁、全国護国神社会等の代表者など特別参列者が本殿に進み、玉串を奉り拝した。

### 遺骨収集帰還事業 参加希望者の事前登録募る

令和元年度遺骨収集実施予定表

また、春季例大祭にあたり安倍晋三内閣総理大臣、大島理森参議院議長、伊達忠一参議院議長、根本匠厚生労働大臣等は「大真榊」を奉納。安倍総理は平成二十五年の春秋例大祭から大真榊を続けて奉納されている。



春季例大祭に天皇陛下より差し遣わされた勅使が参向 = 4月22日、靖国神社で

超党派の国会議員でつくる「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長、尾辻秀久参議院議員)は、四月二十一日から二十三日の靖国神社春季例大祭に合わせ、二十一日午前八時、水落敬栄本会会長(参議院議員)、衛藤晟一参議院議員、衛藤晟一参議院議員、大臣補佐官、佐藤正久外務大臣、自民党の加藤勝信総務会長をはじめとする自民党、国民民主党、日本維新の会、希望の党、無所属の衆・参両院議員百四十五人、本人七十一人が揃って靖国神社の

No.	地域名	派遣期間
1	マーシャル諸島	7月10日(水)~7月25日(木)
2	ビスマーク・ソロモン諸島(第1次)	10月5日(土)~10月18日(金)
3	樺太・占守島	11月5日(火)~11月13日(水)
4	マリアナ諸島	11月11日(月)~11月22日(金)
5	パラオ諸島	11月30日(土)~12月13日(金)
6	硫黄島(第4回)	1月29日(水)~2月14日(金)
7	東部ニューギニア	2月12日(水)~2月27日(木)
8	ビスマーク・ソロモン諸島(第2次)	2月26日(水)~3月12日(木)
9	ミャンマー	2月28日(金)~3月12日(木)
10	インド	3月1日(日)~3月12日(木)

### 靖国神社に145人が参拝

#### みんなが参拝国会議員の会

本殿に進み昇殿参拝した。尾辻会長は参拝後に記者会見し、「だんだん戦争のことが風化していく。それが心配だ」と語った。また、安倍晋三総理大臣の平成二十五年以降、靖国神社の参拝を見送っていることについて「残念に思う」と述べる一方、「総理が国のために」

### 第45回総会を開催

#### 代表者百余人が出席

英こ 霊にこたえる会

総会を東京・ホテルグランドヒル市ヶ谷で地方本部、中央参加団体の代表者百余人が参集して開催した。

総会は寺島三三同会会長の挨拶の後、平成三十一年度表彰式が行われ、一団休、個人六十四人が表彰された。表彰者を代表して大分県遺族会連合会の岩男立夫会長に表彰状が授けられ、謝辞を述べた。

続いて議案の審議に入り、地方本部会長の交代、平成三十一年度事業等の実施について報告された。さらに平成三十一年度決算、役員改選(一部)、針、事業計画及び同予算が諮られ、承認された。また、櫻井よしこ同会副会長及び国家基本問題研究所理事長による「今、私たちが出来ることは何か、変わるのは今しかない」と題して、講演を拝聴した。

### 英こ 霊にこたえる会 第45回総会

総会で講演する櫻井よしこ国家基本問題研究所理事長 = 4月23日、ホテルグランドヒル市ヶ谷で

昇殿で昇殿参拝に臨む「みんなが参拝する国会議員の会」 = 4月23日、靖国神社で

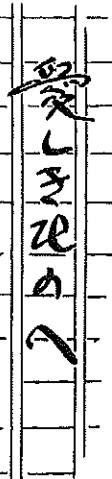
# 開館20周年記念事業

## 特別企画展開催で好評博す

昭和館で、平成三十一年三月十六日から五月六日にかけて、開館二十周年記念事業として、特別企画展「日本のオリンピック・パラリンピック大会を支えた人々」と写真展「昭和に出会う旅―四十七都道府県をめぐって―」が開催され、特別企画展には四万八千八百人、写真展は二万九千八百九十三人が来場し、幅広い年代から好評を博した。

特別企画展「日本のオリンピック・パラリンピックのあゆみ」の四つのコーナーに分けて、明治四十五年のストックホルム大会に参加した金栗四三の写真や、「幻のオリンピック東京大会1940」に向けて製作されたグッズ、昭和二十九年の東京大会の役員用ブレザー、大会の役員用プレート、東京パラリンピックの公式ポスター等、実物資料が一般に認知されていなかった時代のパラリンピック大会の様子や、当時の思い出を話され、集まった観客は熱心に聞き入っていた。

### 遺書



陸軍少佐 安齋 昌  
昭和十九年五月一日  
宮城県仙台市郡山出身 二十五歳

二十有餘年を顧みて、今日私が斯くも立派に死所を得ましたのも、一重に御両親様はじめ兄上様、弟両君等の御厚情、御薫陶の賜と深く感謝しつつ喜んで國難に殉じて行きます。

御両親様  
兄上様方  
姉上様方  
弟両君

皆様の御隆昌と御健康を御祈り致します。

〔令和元年五月靖国神社頭掲示〕

(原文のまま)  
愛しきものへ

写真展「昭和に出会う」鉄道唱歌(東海運糧)旅―四十七都道府県をめぐって―では、戦前から戦後を通して、四十七都道府県それぞれの観光名所を訪れた人々の様子、駅、乗り物など、旅にまつわる様々な情景が写し出された写真が紹介された。



熱心に資料を見る来場者=昭和館で

### ファイリピン慰霊巡拝

#### 関係遺族の参加者募集

本会主催

日本遺族会では、本年度慰霊計画に基づき、本会主催でフィリピン地域の戦跡慰霊巡拝を予定している。

第二次世界大戦でのフィリピンにおける戦闘は、レイテ島、ルソン島、ミンダナオ島、ネグロス島といったフィリピン諸島はほぼすべての全域にわたって行われており、五十一万八千人の日本兵が戦没している。

この慰霊巡拝は、フィリピンの戦跡を巡り、現地に資料を掲載する。



各都道府県遺族会にて実施された大会、研修会等は次のとおり。

- 愛媛県 3月16日
- 平州市 三森 一雄
- 山形県 菊地 幸子
- 南相馬市 原 芳広
- 東京世田谷区 小林 盛

### 九段短歌

選者 安元 百香子  
お寄せください

激戦地訪ねたまいし西陸下平和の御水脈の果てまで  
南相馬市 柴田 征子  
国民と共にいとおせし西陸下戦没者慰霊の君が代流る  
佐世保市 田中 暁

玉碎の島の御堂に富士山の水を供えむ魂安らかに  
富士吉田市 菱沼 勝由  
書きて来し般若心経に教養包みパンザイクリフの波間  
岡崎市 中村佐世子  
兵士らの遺体の流れつきとふ猫鼻頭神の切岸に立つ  
岡崎市 岡松 未子

供え物夫のみ墓に捧げいて悲しきとは語らずに居り  
長崎県 故 浦上 幸子  
改裝の墓誌に刻みし父の名に「戦死」の文字平和  
き投稿を。

令和の御代を迎えました。平成の大御心に感謝しつつ  
建國神話を画いた交声曲「海軍遺征」を聞きました。  
ご在位三十年奉祝の企画で、信時流作曲・北原白作  
詞の皇紀二千六百年の奉祝歌です。遥かな日本の歴史  
と国がらを偲び感動しました。今年は二二七九年で  
猫鼻頭神には現地の人が潮音橋を建てて祀って  
くれていますこと有難いことです。

投稿が増え掲載されなかつた方、落選されず引き続  
き投稿を。

(選者)

### 「戦時遺構めぐり」実施

#### 長崎県連合遺族会で

長崎県連合遺族会は三設から日清、日露、先の月、長崎近郊の遺族を募り、佐世保、大村湾沿いの戦時遺構を巡り、大村湾の海辺に佇む旧海軍の秘密基地、片島魚雷発射試験場跡を散策した。

国指定重要文化財である旧佐世保無線電信所施設や、徳川幕府の海軍創

本会事業参加者の皆様へ  
本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報情報は「個人情報保護法」の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

### 日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰(遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝)、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。

次世代を担う青年部(孫・ひ孫)の皆様も是非申し込みを。

年間購読料/1,560円 (1年間12回 税金・送料込)

お申込み 日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521



「比島戦没者の碑」で献花する遺族ら =平成31年3月、ルソン島カリラヤで

